

野村ダム湖で栽培中の“エンツアイ（中国野菜）”を収穫します

野村ダムでは「湖面での“エンツアイ（中国野菜）”の水耕栽培による栄養塩類の除去実験」として、7月20日に苗の植え付けを行いました。栽培中であるエンツアイが大きく育ちましたので、収穫を行います。

平成24年 8月23日

国土交通省
四国地方整備局
野村ダム管理所

問い合わせ先

国土交通省 野村ダム管理所

管理所長／鷺津 隆廣 （内線201）

管理係長／井上 博文 （内線332）

TEL／0894-72-1211

野村ダムにおける

湖面での“エンツアイ(中国野菜)”の水耕栽培による栄養塩類の除去実験について

野村ダムでは、昭和57年に管理を開始していますが、管理開始以来、貯水池への栄養塩類の流入等による富栄養化が進み、赤潮、アオコの発生が見られるようになってきました。

平成10年以降、アオコの発生の頻度、期間、面積が拡大する傾向が見られるようになりました。

このような状況を踏まえ、野村ダムでは、貯水池の水質保全の取り組みのひとつとしてエンツアイの水耕栽培による栄養塩類の除去を行っています。

本年も、皆様のご協力によりエンツアイ苗の筏への植え付け作業を7月20日に実施し、湖面での水耕栽培で、大きく育ちましたので、以下の日程で収穫を行います。

■中国野菜・エンツアイの収穫を下記により実施します。

日 時： 平成24年9月7日（金）・16時～17時
（小雨決行）

場 所： 野村ダム流木処理場。別紙・チラシを参照。
〔場所が分からない場合には、野村ダム管理所までおいで頂ければご案内します。〕

【これまでの経緯】

この実験は、「肱川流域の環境と治水を考える住民ネットワーク」より野村ダム管理所に提案があり、鳥取大学名誉教授（農学博士）津野幸人氏に技術指導をして頂き、実施をしてきたものです。平成16年度より実施しています。

貯水池の富栄養化の主な原因物質である窒素、リンを吸収して育つ“中国野菜・エンツアイ”を湖面で水耕栽培し、水質浄化の試験研究をするものです。

栽培は、孟宗竹（モウソウチク）で筏を組み、開削した穴に苗を植え、筏を湖面に浮かべて水耕栽培の実験を行います。



－エンツアイ生育状況－

平成24年度 野村ダム 第2回 エンツァイ収穫会

日時：平成24年 9月 7日（金）
16:00～17:00

場所：野村ダム流木処理場

次第 ①あいさつ
②収穫・計量

